

lafont.

PARIS

「カフェ・ド・ラフォン 26 号」 MIDO2016



1. 新作のテーマについて

今回のコレクションテーマは、「ポスト印象派」です。ポスト印象派の表現方法をベースに、デザイナーであるトーマの身近にあるものからインスピレーションを得て作られています。トーマの身近にあるものの中でも、フランスラフォン社においてトーマが日常的に接する様々なものがデザインに影響を与えました（「インハウス・スタジオ・デザイン」）。

「ポスト印象派」とは、写真のような写実性を追求しているのではなく、心の風景を重視して表現した芸術様式です。ポスト印象派のように、トーマが自身の心の風景、つまりトーマにとってメガネとは何かを形にしたのが今回のコレクションです。ポスト印象派の画家の中でも特にセザンヌから影響を受けています。

トーマは心の風景を表現するにあたって、メガネの二面性に注目しました。メガネをかけて見るときの内側からの印象と、相手から見られるメガネの外側からの印象は異なります。メガネの表と裏のカラーの違いや、自分からは内側が見えるが人からは外側が見える、メガネにはそのような二面性があります。その魅力を楽しんでもらいたいという想いを、コレクションを通して伝えています。



2. 今回のモデルのモチーフを教えてください。

TARENTELLE (タロンテル)

フロント部分に施された模様は CNC 切削加工 (Computer(ized) Numerical(ly) Control(led):コンピューター制御カッティングマシン) で作り出しています。

1980 年代風のデザインです。

ポルカドット模様...COL.1040,3043,675

ストライプ模様...COL.1024,3072,7038

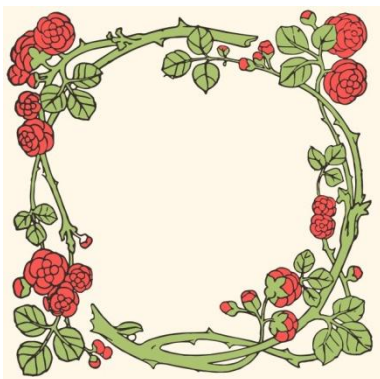


上から TARENTELLE col.1040,7038

TENTATION (トンタション)

テンプレのエッチング模様は、1920～30 年代に流行ったアールヌーボーのモチーフで、木製家具やカーペットや壁紙に使われることの多かったバラのつぼみをイメージしています。

ツートーンのカラーリングは、一色目カラーリング→二色目をカラーリング→バラのつぼみ部分のカラーを拭き取ることで一色目を露出させるという流れで作り出しています。1 時間に 6 本しか作ることができません。



上：新色のリバティファブリックを挟んでいます col.1042

下：テンプレ上から col.1042,380



THEODORA (テオドラ)

PETALE のソフトシェイプバージョン。フロントはバタフライモチーフです。

ベベルカット（斜めにカットして裏生地を見せる手法）が施されています。



PETALE col.5020



上から THEODORA col.1033,5063

TIPHAINE (ティーフェン)

SILMO モデルで人気のあった SAVEUR のメタルバージョン。

フロントシェイプは、SAVEUR と同様「蓮（ロータス）」をモチーフとしています。

フロントのツートンカラーは智元に斜めラインが施されていて、リフトアップ効果を出しています。

フロントの下リムとテンプル部分に凹凸の表面処理（エッチングによるエングレービング：彫り⇒レーザーによる仕上げ）を施しています。拭き取り手法でツートーンのカラーリングにしています。



SAVEUR col.3038



上から TIPHAINE col.509,7069

TOURBILLON（トゥールビヨン）

SCALA のフレームバージョン。ステンレスにエッチングを施して渦を表現しています。ギリシア神話の牧畜の神パーンが持っているハーブ（琴）をイメージしたシェイプです。拭き取り手法でツートーンのカラーリングにしています。こちらのフレームは1時間に4本しか作ることができません。



SCALA col.181



TOURBILLON col.7068S



TRIANON（トリアノン）

TRIANON という名称は、フランスのヴェルサイユ宮殿にある離宮の一つから来ています。

フロントのブロー部分の隙間は、エッチングでくり抜き、レーザーで仕上げをして作られています。

メタル部分は拭き取り手法によるツートーンのカラーリングです。スケルトンをイメージしています。

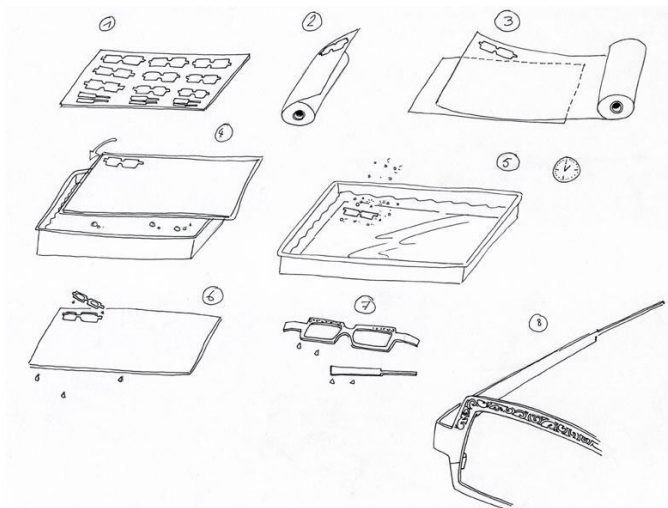


TRIANON col.6051

エッチングは、特殊な酸を混入した液体に、ステンレスシートを浸すことで成型します。

＜エッチング工程（左図）＞

- ①ステンレスシートに玉型を印刷します。
- ②マスキングシートに残したい（溶かしたくない）部分を印刷します。
- ③マスキングシートをステンレスシートに貼り付けます。
- ④酸を混入した液体にシートを浸します。
- ⑤腐食時間によって線の太さを調整します。
- ⑥腐食を免れた部分だけが残ります。
- ⑦パーツを乾かします。
- ⑧ロー付けやカラーリングの工程に入ります。





画像左：

上段 TARENTELLE col.1040

中段 TOURBILLON col.100S

下段 TIPHAINE col.181

画像右：

上段 TENTATION col.1042

中段 TOURBILLON col.700S

下段 TIPHAINE col.7070



画像左：

上段 THEODORA col.3072

中段 TIPHAINE col.360

下段 TOSCA col.3075

画像右：

上段 TARENTELLE col.3072

中段 TANDIS col.5059

下段 TANTOT col.3068

3. ラフオンブティックのディスプレイ

ラフオンブティックのディスプレイです（2016 年 3 月）。



ラフオンブティックのディスプレイです（2016 年 4 月）。



ラフオンブティックのディスプレイです（2016 年 6 月）。

